# ノロウィルス

| | |
|---|---|
| 特徴 | 嘔吐が突然強烈に起こる |
| 潜伏期間 | １２～４８時間 |
| 感染経路 | 経口感染・接触感染・飛沫感染。サラダ、二枚貝などの食品から感染 |
| 症状 | 嘔吐・腹痛　　多くは１～３日で治る。脱水注意 |
| 治療 | 特効薬なし！対症療法のみ |
| 登園基準 | 下痢・嘔吐が消失した後 |
| 予防 | 嘔吐物や便に触れた後は手洗いを正しくきちんと<br>嘔吐物は速やかに正しく処理<br>汚染された場所は次亜塩素酸ナトリウムや熱湯で消毒<br>便中に 3週間以上排泄 |

吐物の感染力 も強く、乾燥してエアロゾル化した吐物からは空気感染も発生しうる

アルコール消毒は効きにくい

# とびひ（伝染性膿痂疹）

【 紅斑・水疱・びらん・厚いかさぶたができる疾患 】

- 虫刺されや湿疹を掻きむしった後に
  黄色ブドウ球菌や溶連菌に感染して起こる
- どんどん拡がる
- 接触感染。かさぶたにも感染性残っている
  掻いた手で他の子を触り、うつす
- 治療：皮膚を清潔に、抗生物質の塗布や内服
- 予防：病巣を覆う。タオルを共有しない
  病巣がじくじくしている時はプールは避ける

# みずいぼ（伝染性軟属腫）

- ポックスウイルスによる皮膚感染症
- 体の接触、タオルなどの共有で感染。接触感染
- 米粒大のいぼが胸や腹、わきの下にできて拡がる
- 半年～1年で自然に消える
- かゆみが強かったり、他への感染を防止するためには
  治療する場合もある
- 病変部を覆って他児への感染を防ぐ。プールは可だが
  タオルや浮輪を共有しない。よく肌を洗う

# あたまじらみ

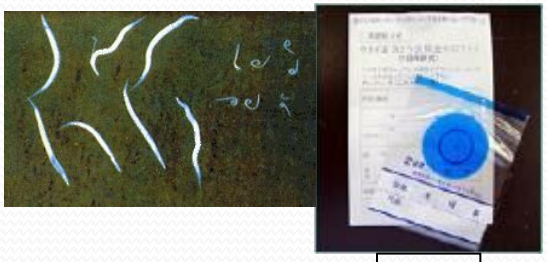
集団保育により増加

しらみ駆除剤

薬局で購入

頭皮に寄生して皮膚炎を起こす
あたまのかゆみ
衛生不良と無関係
接触感染：直接感染、タオル・クシ・帽子から
適切な治療をしたら登園制限なし
昼寝の布団は離して頭どうしが接しないように
プール可、タオルや帽子は共有しない
枕カバーは洗うか熱処理（熱湯、アイロン）
頭髪を短くする必要なし

# ぎょう虫



検査

おしりが痒い
汚染した手や、共用するおもちゃ、トイレのシートなどを介した経口感染
家族内で感染していることがある
駆除薬内服（家族で同時に治療）
プール可

# 新型コロナウイルス感染症(2022年6月情報)

潜伏期：1-14日（多くは5-6日）とされてきたが、
株によっては短いものもある（オミクロン株は2-3日）

感染経路：飛沫・接触感染だが、エアロゾルで空気中を漂う
便からも長期にわたって確認

・小児は無症状者や軽症が多いとされていたが、
オミクロン株が流行するようになって、発熱、咽頭痛が増加
熱性けいれんやクループ（犬が吠えるような咳嗽、嗄声、喘鳴）
2 歳未満や基礎疾患のある場合は重症化のリスクあり

# 迅速検査のまとめ
## ～保険適応年齢があるので注意!！～

**適応条件（年齢）なし**

（呼吸器関連ウイルス）
- インフルエンザ
  発症48時間以内、回数
- アデノウイルス
- マイコプラズマ
- 溶連菌
- COVID-19
  診察で疑わしい場合

（胃腸炎関連ウイルス）
- ロタウイルス
- アデノウイルス

**適応条件（年齢）あり**

（呼吸器関連ウイルス）
- RSウイルス
  1歳未満
- ヒトメタニューモウイルス
  6歳未満
  肺炎が疑われる場合（画像・診察）

（胃腸炎関連ウイルス）
- ノロウイルス
  3歳未満、65歳以上

# 感染症の予防

# “手洗い”と“うがい”

■ 手洗いのタイミング

- 幼稚園に着いた時
- 食事の前
- トイレの後
- 外で遊んだあと （動物を触った後）
- せきやくしゃみをした後

■ うがいのタイミング

- 幼稚園に着いた時
- 食事の前
- 外で遊んだあと

- 個人持参のタオルをタオル掛けに掛ける場合は、タオル同士が密着しないように間隔を空ける
- 石鹸は液体石鹸が望ましく、詰め替えは、残った石鹸は捨て、容器をよく洗い、乾燥させてから、新たな石鹸液を詰める

# 上手な手の洗い方

1

両手を水で洗います。

2

セッケンを手にとって
アワをつくります。

3

手のひらを洗います。

4

ゆびのあいだも
洗います。

5

手のそとがわを
洗います。

6

ゆびさきの、ツメの
ところを洗います。

7

おやゆびのつけねも
洗います。

8

さいごに手首を洗って、水で
15秒くらい洗いながします。

9 清潔なハンカチ・タオル・ペーパータオルでしっかり拭きましょう（人のは使わないこと）

# うがいのしかた

手順1
口の中を
クチュクチュ

口に水を含み、そのまま口の中で
強めに「クチュクチュ」として、
はき出します。

手順2
「ガラガラ」を
15秒

口に水を含み、上を向いて15秒
くらい、なるべく、のどの奥まで
水が入るように「ガラガラ」と
して、はき出します。

手順3
くり返し
「ガラガラ」

もう一度口に水を含み、上を向いて
「ガラガラ」をくり返します。

# 吐物や下痢の処理

ノロウイルスは
エタノール
効果なし

“ 処理する人と周囲の感染拡大の防止が重要 ”

準備するもの

塩素系漂白剤
（次亜塩素酸ナトリウム）

① マスク・手袋・ビニールエプロン、できればゴーグルをつける

② 0.1%の濃度の次亜塩素酸ナトリウム消毒液を作る
作った消毒薬にペーパータオルを浸して軽く絞る
嘔吐物が隠れるようにペーパータオルをかぶせる
外側→内側に向けて嘔吐物を包みながら拭き取り、ビニール袋に入れる
ビニール袋は二重にして密封する

消毒剤の噴霧は効果が薄く、
逆に病原体が舞い上がる

③ 汚物のあった場所にペーパータオル等を敷き、その上に濃度100ppm（100mg/L）以上の次亜塩素酸ナトリウム溶液をまく（数分以上置くこと）。ペーパータオル等を回収後、残った次亜塩素酸を拭き取って乾燥させる

④ 手袋・エプロン・マスクをはずし、ビニール袋に入れ、ビニールの口を縛って密閉し破棄する。流水と石鹸で良く手を洗い、手指消毒する

⑤ 窓を開け、換気する

# ⚠咳エチケット違反してませんか？

## 咳やくしゃみを手でおさえる

咳やくしゃみを手でおさえると、その手にウイルスが付着します。ドアノブなどを介して他の人に病気をうつす可能性があります。

## 何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみをするとき、しぶきが2mほど飛びます。しぶきには病原体が含まれている可能性があり、他の人に病気をうつす可能性があります。

# 正しい咳の仕方

## 3つの咳エチケット　電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

### ①マスクを着用する（口・鼻を覆う）

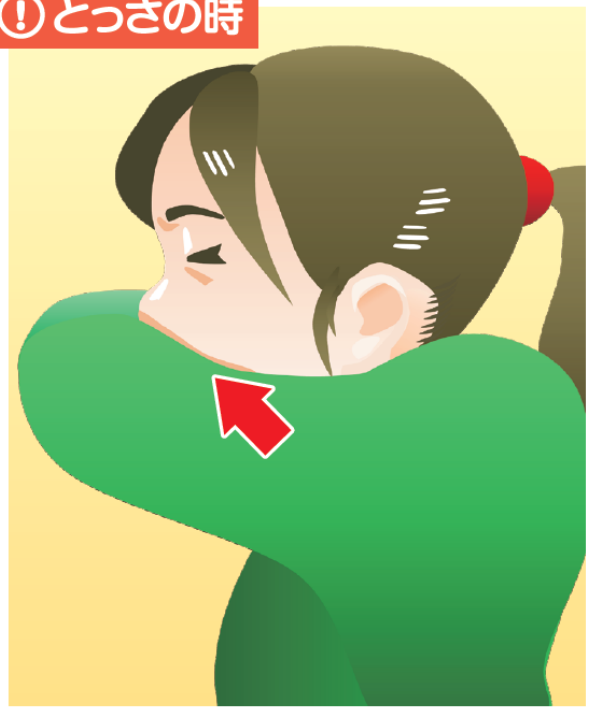
鼻から顎までを覆い、隙間がないようにつけましょう。

### ⚠マスクがない時

### ②ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

ティッシュ：使ったらすぐにゴミ箱に捨てましょう。
ハンカチ：使ったらなるべく早く洗いましょう。

### ⚠とっさの時



### ③袖で口・鼻を覆う

マスクやティッシュ・ハンカチが使えない時は、袖や上着の内側で口・鼻を覆いましょう。

# こどものマスク

特に2歳未満や障害のある場合のマスク着用には
誤嚥や窒息などの危険性があるため注意が必要

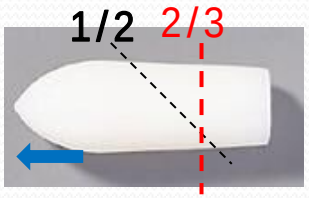
自ら息苦しさや体調不良を訴えることが難しく
自分でマスクを外すことも困難

- 呼吸が苦しくなり、窒息する可能性
- 嘔吐した場合に、窒息する可能性
- 熱がこもり、熱中症になる可能性
- 顔色、呼吸の状態などが観察しにくいため
  体調異変の発見が遅れる

年齢にかかわらず、慎重な見守りが必要
表情が見えにくくなることによる弊害も懸念

# 発熱

↓




® ® ® ®

# 咳

## 考えられる主な病気

『 からぜき 』 かぜ

『 痰がらみの咳 』 気管支炎や肺炎

『 **ケンケン** 犬や**オットセイのような咳** 』 急性喉頭炎（**クループ症候群**）

『 ぜんめい **ゼイゼイ**やヒューヒュー 』 **気管支喘息**　喘息性気管支炎

すぐに保護者に連絡が必要な場合

◇ 呼吸困難がある

多呼吸
顔色が悪い　ぐったり
咳込んで嘔吐を繰り返す
横になれない、苦しそう
みぞおちや鎖骨の間のくぼみがペコペコ
肩を上げ下げする肩呼吸
話さない　食べれない　遊べない
犬が吠えるような咳で息が吸いにくい

起座呼吸

**咳がひどく、苦しそうにしている時は**
**上半身を起こし、もたれられるように**

# 腹痛

考えられる主な病気

『 発熱がある 』 かぜ

『 嘔吐や下痢もある 』 食中毒　**嘔吐下痢症**

『 鈍い持続的な痛み』 虫垂炎

『 間欠的な痛み』 **便秘**　腸重積（血便・間欠的腹痛） IgA血管炎（下肢に紫斑や関節痛）

観察ポイント

うんちはでていますか？
痛がり方は？
痛みの部位は？
下痢は？血便は？
嘔吐は？
食欲は？

すぐに保護者に連絡が必要な場合

- 痛みで泣きわめく
- 痛みが続く、どんどん増悪
- 顔色が悪い
- ぐったりしている
- 血便
- 嘔吐を繰り返す
- おなかが張っている